

第18期 平成30年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援(自主事業・一部委託事業) ※継続

- 三遠南信住民ネットワーク協議会の遠州側の世話人として世話人会に参加した。
- 三遠南信地域連携ビジョン策定委員会の委員として、新ビジョンの策定に参加した。
- 三遠南信サミット2018in東三河に参加、分科会で発言した (平成30年10月29日開催)。

(2)UDおもてなしワークショップ(提案・委託)

- 浜松市内において、ラグビーワールドカップ開催に向け、より多くの人々が安全で快適に浜松の旅行を楽しめるような受け入れ側のスキルを高めるため、市民や観光事業者を対象にUDツーリズムのワークショップを開催した。

- 日程 平成30年9月20日(木) 14:00~16:30
- 場所 舘山寺サゴロイヤルホテル
- 対象 UDに取り組む市民、舘山寺の観光事業者 20名
- 内容 講演「バリアフリーツアーセンターの取り組み」
(ふくしまバリアフリーセンター長佐藤由香利氏)
WS「UDのおもてなしとしてできること」



UDツーリズムのワークショップ

2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務(委託・一部自主事業) ※継続

①浜名湖環境教育プログラム「浜名湖エコキッズ体験塾」

- 8月4日(土) アマモ場の生き物観察、湖上遊覧(弁天島海浜公園)



浜名湖エコキッズ体験塾2018in弁天島

②浜名湖アマモ利用プロジェクト

- 浜名湖のアマモ・アオサ(海草)に関する循環の仕組みづくりを継続し、湖岸に漂着したアマモ等を畑の堆肥として活用し、市民啓発と再利用の拡充・定着化を図る。

- 8/4(土): アマモ回収作業(弁天島海浜公園) ※浜名湖エコキッズ体験塾の一環で実施
- 10月14日(日) アマモ堆肥による野菜づくり(浜松市西区村楯町の耕作放棄地)
- 1月13日(日) アマモ堆肥で育てた野菜の収穫(浜松市西区村楯町の耕作放棄地)



アマモの回収（弁天島海浜公園） アマモ堆肥のすき込み・アマモで育てた野菜の収穫（浜松市西区村柵町）

※平成 19 年度以来、静岡県自然保護課からの委託事業で取り組んできたが、今年度から浜名湖エコキッズ体験塾（環境教育の啓発事業）は廃止され、須山建設（浜松市）が浜名湖畔に設置したソーラー発電所で得た売電収入の一部を協賛金としてネットワークに協賛してもらった。（協賛金 10 万円）

②浜名湖環境保全団体情報発信・交流会開催の支援（継続）

●情報発信 8月～2月

- －環境保全団体や企業を取材して活動情報を SNS や広報誌で発信した。（広報誌発行：2回）
- －また、自主事業として「はまなこ環境ネットワーク」のwebサイトを復活し、HPで活動情報を発信した。



●活動団体交流会：平成31年3月10日（日）

浜名湖の環境とSDGsをテーマに団体交流会を開催した。

- －環境とSDGsに関する講座
- －環境保全団体の活動発表・パネル展示
- －浜名湖の環境保全に関する意見交換会
- 「考えよう！みんなでSDGsと浜名湖の環境」



3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1)清水次郎長生家の管理運營業務（補助・一部自主事業） ※継続

- －平成 30 年 6 月 1 日より静岡市(所管文化財課)からの委託業務として運営する。
- －通常 1 人での施設管理、運営であったが、平日は 1 人、土日は 2 人体制にて運営する。それにもとないパート職員を 5 人体制で運営する。
- －平成 30 年度の入館者数は 14,432 人、前年よりも 6.7%の増加となった。清水湊の面影を残す使節として学生等の研修の受け入れも行い、113 人の来館者があった。
- －次郎長を知らない世代への PR として SNS での発信を目指したバナーを作成し、写真を撮った人が SNS にて発信する環境なども整えている

- ①次郎長パンフレットの増刷と英語版パンフレットの編集増刷
- ②クイズ次郎長ハロイン実施 10 月 31 日(25 名参加)
- ③県立総合高校との連携事業⇒次郎長千両箱の開発ものづくりコンテスト特別賞受賞
- ④生家の文化財発信事業 11 月 4 日(20 名参加)

- ・初めて、改修前に来館した人が9割近くであり、説明について「すごく良かった83.3%」「まあまあ良かった16.7%」であった。

- ⑤生家周辺の猫展示(新規顧客開発)1月～3月開催
- ⑥作家アトリエサンゴ氏による次郎長バナーの制作



(2)小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり地域活性化事業(補助) ※継続

ー平成28年度より、小山町須走まちづくり推進協議会が文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」に採択され、富士浅間神社を中心に「巡拝の道」ルートの設定し、現代版の富士講の“行”が体験できる環境やシステムの構築を図る事業を進めている。事業の企画立案、実施協力を行った。

<平成30年度事業>

①情報発信事業

ー委員会の実施、映像の作成(5点)、パネル制作、案内板の設置

②人材育成事業

ー委員会の実施、人材養成講座(6回)

③普及・啓発事業

ー夏越大祓い、富士山ウォークの開催

ー富士講・御師体験ワークショップ、パンフレット作成

(3)国道138号景観形成ワークショップ(委託)※継続

ー富士山の山麓を走る国道138号において、住民・事業者・行政等が協働で道路景観の向上を図る活動や体制をつくる事業である。

ーワークショップ会議は、御殿場地区では4回、小山町須走地区では3回実施した。

ー現場で道路景観形成の具体的な美化活動を実施した。

<小山町須走地区>

- ・オリンピックのサイクリングコースの歩道上の防護柵の塗装を行った。160名以上の参加を得て((未就学児童～中学生45人含む)実施した。

<御殿場市>

・6月7日に萩原地区国道138号、246号交差点周辺にて93人の参加で実施した。

・11月13日は市役所周辺にて134人参加で実施し、国道における除草剤散布実験も行った。自主的にニュースレターを発行した。



(4) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託) ※継続

ー協議会の事務局として2峠6宿のまち歩きに関する情報等の提供を行うとともに、歩きやすい環境を整えるための美化活動や環境整備を行った。旧東海道のルートを顕在化するために各宿場のガイドの協力を得て民地側に「東海道標示シール」の貼付を115ヵ所で行った。

- ①組織の運営：静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)
- ②運営資金の確保：東海道2峠6宿冊子の販売
- ③ウォーカーへの情報発信：HPの維持(英語版の作成)
- ④磨き上げ事業：旧東海道の標示マークの作成と配布⇒ガイド委員会の開催
- ⑤2峠6宿情報発信
 - 府中宿静岡祭り、丸子宿宿場祭りへの出店
 - 「遊びにおいてよIN宇津ノ谷」の実施
- ⑥旧東海道標示サインの整備

項目	数量	数量	備考
東海道シール貼付箇所	115ヵ所		
蒲原宿周辺		38ヵ所	
由比宿周辺		15ヵ所	
興津宿周辺		9ヵ所	
江尻宿周辺		15ヵ所	
府中宿周辺		38ヵ所	
丸子宿周辺		実施中	

丸子宿についてはただいま実施調整中



(4) 東海道と綿シート設置業務(委託)

ー平成29年度国道1号佐渡交差点において行った路面シートの実験事業を受けて、静岡市が旧東海道沿いの分かりにくい箇所に路面シートの整備を行った。

項目	数量	数量	備考
道路路面シート設置場所	13ヵ所		国整備箇所含む
道路路面シート設置・曲がり角交差点箇所数	19ヵ所		シート数84枚



(6)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

① ぐるり富士山風景街道HPの維持管理

② ぐるり富士山風景街道一周清掃2018の企画・調整・実施

ーぐるり富士山一周清掃月間： 10月～約1ヶ月間

ー重点区間清掃（静岡県側）：9/23（日）朝霧高原・R139で開催 ごみ回収量 137kg

国（国交省、環境省）、県（道路、世界遺産）、市、地元、n p o、星陵高校など 約180名



ー重点区間清掃（山梨県側）：11月23日（金・祝日） ごみ回収量 700kg

国道138号（富士吉田市・山中湖村）、桂川（忍野村）

- 清掃月間 静岡県 企業・地域団体等 5回

国道138号（御殿場、須走）、国道469号（富士市）、県道24号（富士市）、
県道152号（御殿場市）180号（富士宮市）

山梨県 企業・地域団体等 9回

国道139号（鳴沢村・富士河口湖町）、県道71号（鳴沢村・富士河口湖町） 他

③ ぐるり富士山サイクルネット研究会

ぐるり富士山風景街道推奨のサイクリングルートを経済圏・山梨
県の両県で協議し、

サイクルネット研究会を開催し、一周ルートを決めた。

○研究会 平成31年1月16日（水）富士宮市大富士交流センター
サイクリングルートを紹介するために、静岡国道事務所の広報業
務委託（役務）により、MAPをポスター・パネル化してPR。



(7)朝霧地区景観形成ワークショップ会議

ー朝霧地区で景観形成ためのワークショップ会議の開催を
コーディネートした。（平成17年度から継続）

○6月18日（月）ワークショップ会議

現地確認（人穴富士講付近）、今年度の活動内容

○10月30日（火）フィールドワーク（人穴富士講付近）

草取り、ごみ拾い、修景塗装

○3月12日（火）ワークショップ会議

今年度の活動報告、次年度の活動に関する検討



(8) 静岡国道事務所管内風景街道の広報活動業務(提案・役務) ※継続

① ぐるり富士山風景街道の広報活動

ーぐるり富士山一周サイクリングのルート設定やサイクリング環境の調査研究、サイクリングの連携会議を開催した。

○連携会議

- 平成30年6月28日 山梨＝静岡両県の担当者調整会議
- 平成31年1月16日 連携会議
- 一周サイクリングルート案の承認、
- サイクルツーリズム勉強会



サイクリング推奨ルート

ぐるり富士山サイクルネット研究会

ーぐるり富士山風景街道を巡るサイクリングルートを紹介するMAPをポスター・パネル化して、道の駅や観光施設など関係施設に配布した。

② 東海道駿河2峠6宿風景街道の広報活動

- ー旧東海道を示す標示シートの製作経緯、ルールや活用の仕方などをまとめたB5版PRパンフレット作成した。
- ー2月に開催された全国街道交流会議静岡大会にて800部印刷し、配布した。またサインのルールについてはA1版パネルを2枚作成し、大会会場にて展示した。

展示パネル



パンフレット表紙



(9) 富士山朝霧高原景観管理の取組支援(自主事業・役務) ※継続

- ー富士山の景観を維持するための組織(道路協力団体)の除草・清掃活動とその資金を確保するための取組を支援した。
- ー景観管理活動(除草・清掃) 4地区 2回(7月 1回目、9月 2回目)

- 活動の財源確保（道路空間へ設置した自動販売機の収益、読み終えた本による寄付、店頭募金箱設置による募金など） ※道路協力団体による道路占用許可の規制緩和
- 道の駅でのシーニックマルシェを開催し、その収益を充てる活動は効率が悪く中止した。
- 当NPOは富士山朝霧高原景観管理協議会の事務局としてその企画・調整運営と事務局など中核的な業務を担った。



国道139号歩道部分での景観管理（除草・清掃）活動

道路区間での収益事業

4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1) 浜名湖サイクルツーリズム業務(委託) ※継続

① 観光圏事業（観光庁）

- 浜名湖サイクルツーリズム推進会議のメンバーとして関わり、サイクリストの受入れ環境をソフト・ハード面で整えていくための試行・仕組みづくりに取組んだ。
- 今年度はインバウンドのサイクリング観光のための事業を中心に、情報発信（多言語化）・インバウンド向けガイド養成・訪日観光客体験旅行商品造成（ガイドサイクリング）、広域連携（琵琶湖・霞ヶ浦・浜名湖の三湖連携、塩の道サイクルツーリズム）などに取組んだ。



9/1ガイドサイクリスト英会話研修



2/17 通訳サイクリスト実践研修会



三湖連携（5/18霞ヶ浦ミーティング・11/2浜名湖ミーティング・2019.5/23琵琶湖ミーティング）



12/2（飯田～天竜）塩の道サイクルツーリズム実走会 11/25渥美半島への風景街道連携の実走会

②サイクルスポーツ県づくり加速化推進事業（静岡県）

- ーオリンピック自転車競技開催に向け、サイクルスポーツの県づくりに向けた機運を醸成するための事業として、ガイドサイクリング養成講座などの開催に協力した。
- ーe-BIKEの聖地に向けたスポーツE-BIKEのレンタル実験、レンタサイクルの予約一元化実験、デジタルスタンプラリーによる浜名湖一周アプリの開発。



スポーツe-bikeレンタル実験



3/21 ガイドサイクリスト養成講座

④ 浜松市天竜材活用事業「FSC材活用のオリジナルバイシクルラックの制作」（浜松市補助）

- ー浜松市林業振興課の助成金と企業協賛、設置施設の負担金により、天竜材（FSC材）を活用したオリジナル木製の自転車用ラックを作成した。制作依頼は天竜森林組合。
- ー希望施設を公募し、浜松・浜名湖のサイクリストの受入強化を目指した。
- 設置施設 30ヶ所（@5,000円～7,000円）
- 協賛企業 5社×5万円+Tネット



FSC材活用の木製ラック

(2)はままつ都市型レンタサイクル事業の実施(委託) ※継続

- ー浜松市中心市街地の活性化のため、新しいレンタサイクルの拠点と官民連携のシステムの研究に参加するとともに、浜松駅前JR高架下のレンタサイクルステーション「はままつペダル」の実験店舗において、レンタサイクルの貸出など管理運営を行い、レンタサイクルのデータ収集・分析を行い、本設に向けて各種の実験に取り組んだ。
- ーガイド付きサイクリングの定期開催した（5回）。
- ーJR高架下での実験期間は平成30年12月末で終了したが、翌年1月より浜松市が開設する遠州鉄

道高架下の「浜松魅力発信館The Gate Hamamatsu」に移転し、レンタサイクル事業の自主運営により継続した。当法人と(株)東海まちづくり研究所と(株)御園井商会（ミツノイサイクル）の3法人による運営体制。（収益としては2019年度として計上）



12月までの「はままつペダル」



1月より移転・オープンした新・はままつペダル



(3)箱根八里街道観光に関する取組への協力(委託) ※継続

① 国土交通省の社会実験実行可能性 (FS) 調査への協力

ー東海道「箱根八里」を活用したサイクルツーリズム(自転車旅)を推進するため、自転車が安心・安全に走行できる道路環境の創出、沿道施設の自転車利用者受入れ体制の整備などを目指した可能性調査に対して協力をした。

※今年度のFS調査の結果を基に、2019年度の社会実験現地実証実験の申請を行った。



② 文化庁「日本遺産魅力発信事業」の実施協力

ー三島市・函南町・箱根町・小田原市の2市2町の「箱根八里」の街道観光が本年5月に日本遺産の登録を受け、地域の文化財を活かして、訪日観光客を誘客するための体制づくり、仕組みづくりの「日本遺産魅力発信事業」に取組んだ。

○情報発信 (WEBサイトの作成)

○人材育成・普及啓発 (峠越えサミットの開催)

ーこの事業は、NPO法人全国街道交流会議と連携し、協力した。

(4)浜名湖魅力発信隊体験イベント(委託) ※新規

ー静岡県西部地域局が立ち上げた「浜名湖魅力発信隊」(浜名湖周辺で活動する地域団体のネットワーク)が連携して、さわやかウォーキングに併せて体験イベントを企画・実施した。

○9月12日(日)三ヶ日体育館跡地(自然体験、食体験、サイクリング体験などのブース出展)

ー「浜名湖魅力発信隊」のWEBサイトによる地域活動団体の情報を発信(HPの更新)した。



(5) みんなで広める！UD提案事業(館山寺UD観光マップ作成業務)助成事業

－昨年度館山寺に実施したまち歩きワークショップやアンケート等で収集した情報をもとに作成した「かんざんじUDマップ」を印刷し、各方面に配布した。

印刷 A4両面カラー 5,000部

(6) 中部ブロック「道の駅」連絡会事務局（委託） ※継続

－中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わった。

－総会（9月：1回・名古屋）、役員会（8月：1回・名古屋）、駅長会議（6月：1回・名古屋）、静岡県道の駅活性化会議（12月：1回・小山町須走）の運営。

－静岡県サイクルスポーツ聖地創造会議に道の駅連絡会事務局として参加した。



道の駅活性化会議静岡県分科会（小山町）

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1) 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業（補助） ※継続

① 見守り・相談支援

○相談受付・情報提供

－窓口相談（住まい・就労・子育て・新聞の閲覧等）

－電話での近況伺い、ニーズの聞き取り

○個別訪問・面談（延べ12回 県内全域）

○アンケート実施（避難者の情報やニーズを把握）7～8月実施

② コミュニティ形成・促進支援

○避難者同士交流会

－農園収穫ランチ会（袋井市）

－7月22日（日）伊豆交流ツアー

（日帰りバスツアー、沼津市・函南町）

－12月上旬 浜名湖みかん狩り体験交流ツアー

（日帰りバスツアー、浜松市北区）



伊豆交流ツアー

○避難者同士・避難先地域住民交流会

－貸農園での農作業交流（袋井市）20回程度

－貸農園での収穫祭りでの交流（袋井市）

－エリア相談交流会（掛川市内及び富士市内 各1回）



避難者による貸農園での農作業・交流会

- 避難者同士及び避難者と帰還者、交流・情報交換会
 - －「ままカフェ@はままつ」の開催 9/16（日）福島に帰還したママを招き情報提供・交流を行った。
 - －ふくしま子ども支援センターや東海地区の避難者支援団体との情報交換会へ参加した。



- ニュースレターによる情報発信
 - －静岡県内の避難者向け広報誌「虹のおたより」の取材、編集・発行（3回程度）

(2)ふれあい基金「避難者ふじのくに体験交流ツアー」(助成) ※継続

- －東日本大震災で静岡県へ避難された方が少しでも明るく、生きがいを持って暮らしていけるため、交流会を開催する。
- －実施：7月22日（日）伊豆交流ツアー（日帰りバスツアー）
12月 浜名湖みかん狩り体験交流ツアー（日帰りバスツアー）

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)静岡地域学会の活動協力（自主事業）※継続

- －静岡地域学会の研究発表会に参加協力。

(2)NPO日本風景街道コミュニティの活動への参加・支援（自主事業）※継続

- 日本風景街道 総会 平成30年8月3日（金） 東京・砂防会館
- 日本風景街道大学しずおか校

しずおか校開催に向けて実行委員会に参加し運営に協力した。

本校：平成30年10月20日（土）・21日（日）
静岡大学・日本平ホテル

浜名湖校：平成30年11月2日（金）・3日（日）
舞阪協働センター・弁天島、浜名湖

- 風景街道コミュニティ事務局（コミュニティシンクタンク）

- －NPO 法人日本風景街道コミュニティには、法人会員として加入し、当法人の代表理事がコミュニティの理事として参加し、「みちのコミュニティシンクタンク」の事務局として活動を支援した。

- 日本風景街道自治体連絡会
 - －全国の風景街道の自治体連絡会などの事務局などを担った。
 - －5月27日 国土交通省幹部への風景街道第2回提言の提出、自治体連絡会
 - －登録自治体：19市町村



日本風景街道大学・しずおか校



国土交通省幹部への提言提出・意見交換

(3)全国街道交流会議 静岡大会の準備協力(自主事業) ※新規

ー全国街道交流会議第12回全国大会「しずおか大会」の開催に向けて関係機関と連携して準備・協力した。

○事前勉強会 第3回 8月7日 自転車と街道観光

第4回 11月18日 藤枝プレゼンポジウム

「歴史的資源の活用と地域活性化～日本遺産と観光誘客～」

○本大会 平成31年2月15日(土) 全国大会(静岡県コンベンションアーツセンター)

2月16日(日) 視察研修会(静岡市内3コース)

(4)復興支援活動の実施(自主事業) ※継続

ーこれまで当法人として行って来た震災復興支援活動について、必要に応じて被災地・避難者の支援活動を行った(委託や補助・助成事業で賄えないものを含む)。